学校長式辞

春爛漫――咲き誇った桜がひらひらと舞い始め、春の陽光がやさしく降り注ぐ今日の佳き日。ご来賓ならびに保護者の皆様のご臨席を賜り、第 24 回木更津総合高等学校入学式を挙行できますことを、心より御礼申し上げます。

そしてただいま入学を許可いたしました６５１名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、心から歓迎いたします。皆さんが数ある高等学校の中から本校を選び、この場に集ってくれたこと、そしてこれからの三年間を共に歩めることを、心より嬉しく思います。

本校は開校以来、「真心教育」という建学の精神のもと、社会において愛され、必要とされる人材の育成に力を注いでまいりました。この理念は、創立者・真板益夫先生によって提唱され、学校法人君津学園８０年の歴史の中で、脈々と受け継がれてきた本校教育の原点であります。
真心教育が目指す人物像は、次の三つです。

一つ、**「社会の良心になれ」**。
社会の正義のために、正しいことを正しいと貫き、自らのためだけでなく、誰かのために行動できる人であれ、という願いです。
一つ、**「困難にくじけない逞しい人間になれ」**。
自らの志に向けて進んでいく中で困難い直面した時、その困難を避けるのではなく、それに立ち向かい、乗り越えていく強さを持て、ということです。
一つ、**「大いなる真実の自己に生きよ」**。
嘘偽りなく、正直に、自らに誇りを持って生きる人であれ、という教えです。
この三つを胸に刻み、皆さんには「真心の人」として成長してほしいと願っています。

そして本校は、その成長を支えるための環境を整えています。充実した施設設備、情熱と経験を兼ね備えた教職員、個性を伸ばす教育制度、そして二千名を超える仲間たち。この恵まれた環境の中で、皆さんには三年間を存分に味わい尽くしてほしいと思います。
高校生活の三年間は、誰にとっても等しく与えられた時間です。しかし、その使い方によって、未来は大きく変わります。今この瞬間から、自分の人生を自分で動かしてください。誰かに言われたからやるのではない。周りに合わせるのでもない。「自分はどう生きるのか」を、自分で決める三年間にしてください。

そこで皆さんに、二つのことを伝えます。
第一に、**勇気をもって挑戦すること**。
これからの社会は、予測困難な時代です。その中で求められるのは、新しい発想と、一歩を踏み出す勇気です。どうか、三年間、色々なことに挑戦してください。そして、失敗を恐れないでください。成功の反対は、失敗ではありません。挑戦しないことです。
本気で挑み、悩み、乗り越えた経験こそが、皆さんの人間性を育て、未来を切り拓く力となります。その積み重ねが、やがて人生を支える確かな土台となるのです。
第二に、**良い習慣を身に付けること**。
挨拶、身だしなみ、規則正しい生活。そして、学習や部活動に全力で取り組む姿勢。これらは一朝一夕に身に付くものではありません。しかし、日々の積み重ねによって築かれた習慣は、将来、皆さんの大きな力となります。良い習慣は財産となり、悪い習慣は弱点となります。どうか三年間で、自分を高める良い習慣を身に付けてください。
以上が、私から皆さんに送る最初のメッセージです。

保護者の皆様に申し上げます。お子様のご入学、誠におめでとうございます。
本校は、学力の向上のみならず、人としての在り方を育む教育に、教職員一丸となって取り組んでまいります。しかし、子どもの成長は学校だけで完結するものではありません。
ご家庭との連携があってこそ、真に実を結びます。
ぜひ日々のお子様との対話を大切にし、お子様の学校生活に関心をお寄せいただければ幸いに存じます。また、学校行事等にも足をお運びいただき、成長の姿をご覧いただければと存じます。

結びに。
三年後、新入生の皆さんが卒業の日を迎えたとき、「この学校に来てよかった」と心から言えるように。そして保護者の皆様に、「この学校に託してよかった」と思っていただけるように。
教職員一同、責任と誇りをもって、全力で教育にあたることをお誓い申し上げ、式辞といたします。

令和８年４月８日
木更津総合高等学校
学校長　真板竜太郎